

I 事業概要

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、次第にウィズ/アフターコロナを見据える中での事業運営となりました。この状況において、当協会では事業計画に掲げた一つひとつの事業について、事業実施時の感染状況を踏まえつつ感染防止対策の徹底やオンラインの活用など手法の工夫を行い、計画の柱である「多文化共生社会の実現と県内在留外国人への総合的な支援の推進」「国際的に活躍できる人材の育成」「国際交流・国際協力の促進」の三つのミッションを最大限に果たすべく推進しました。

1 多文化共生社会の実現と県内在留外国人への総合的な支援の推進

令和4年末の埼玉県の在留外国人数は21万2,624人（全国5位）と過去最高を記録し、県民の約34人に1人が外国人という高い状況になっています。そのため、生活の様々な面で課題を抱える外国人県民に対する総合的な相談支援の充実に取り組みました。

(1) 外国人総合相談センター埼玉の運営

県内在留外国人を支援する相談窓口として「外国人総合相談センター埼玉」を設置し、電話で外国語及びやさしい日本語による生活相談を行いました。令和4年3月15日からはウクライナから避難された方々に、安心して埼玉県に滞在いただけるように新たにウクライナ語とロシア語を対応言語に加え、13言語（やさしい日本語含む）で窓口の運営を行いました。

また、出入国制度や法律に関する相談に対応するため、対面相談を中心とした専門相談を実施しました。

併せて、外国人住民が訪れた公共機関窓口との電話による仲介通訳を行いました。

さらに、公共機関で外国人相談に従事している相談員を対象とした研修会を実施しました。

○相談件数：6,224件（うち仲介通訳の件数 903件）

○対応言語：英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ウクライナ語、ロシア語、やさしい日本語

○対応時間：生活相談 毎週月曜日～金曜日 9：00～16：00

（専門相談）

入管相談 月曜日・水曜日・金曜日 9：00～16：00

労働相談 毎月第3火曜日 13：00～16：00

法律相談 毎月第4木曜日 13：00～16：00

福祉相談 随時

ア 相談内容別件数

内容	区分	計	性別		相談方法			
			男	女	来所	電話	メール	文書
在留資格・外国人登録・帰化		2,390	1,331	1,059	107	2,011	256	16
医療・福祉・年金		1,248	640	608	15	1,121	101	11
仕事・労働		677	406	271	26	623	23	5
住まい		141	73	68	5	122	7	7
婚姻(DV)・親族		218	54	164	13	174	30	1
事件・事故		143	67	76	6	124	11	2
子育て・教育		139	56	83	3	123	10	3
生活日本語学習		18	9	9	2	12	1	3
免許・資格		30	22	8		29		1
くらし		120	65	55	5	101	14	
税金・各種証明		238	141	97	1	207	28	2
通訳・翻訳		358	176	182	37	301	11	9
文化・交流・観光・レジャー・交通案内		20	7	13	1	19		
協会事業		380	168	212	14	355	8	3
その他		100	54	46	5	91	3	1
行政への意見		4	3	1		4		
計		6,224	3,272	2,952	240	5,417	503	64

イ 言語別件数

No.	言語	件数	割合	No.	言語	件数	割合
1	日本語	2,786	44.8%	7	タガログ語	68	1.1%
2	スペイン語	1,197	19.2%	8	韓国・朝鮮語	24	0.4%
3	中国語	777	12.5%	9	タイ語	22	0.4%
4	英語	736	11.8%	10	ネパール語	18	0.3%
5	ポルトガル語	320	5.1%	11	インドネシア語	4	0.1%
6	ベトナム語	272	4.4%		合計	6,224	100.0%

ウ 国籍別件数（上位10国）

No.	国籍	件数	割合	No.	国籍	件数	割合
1	日本	1,250	20.1%	7	パキスタン・イスラム共和国	125	2.0%
2	ペルー共和国	1,192	19.2%	8	ネパール連邦民主共和国	96	1.5%
3	中華人民共和国	1,188	19.1%	9	大韓民国	87	1.4%
4	ベトナム社会主義共和国	481	7.7%	10	カメルーン共和国	73	1.2%
5	フィリピン共和国	382	6.1%		その他	1,002	16.1%
6	ブラジル連邦共和国	348	5.6%		合計	6,224	100.0%

※国籍不明・無国籍を除くと、相談者の国籍は計82か国

エ 相談件数全体のうち専門相談の件数

内 容	対面	電話等	合計
入国管理（東京入管委託団体）	83	1,119	1,202
仕事・労働（社会保険労務士）	1	12	13
法律（弁護士）	23	2	25
福祉（社会福祉士）	1	0	1
合 計	108	1,133	1,241

オ 外国人相談対応のレベルアップのための研修会の実施

実施日	場 所	参加者数	内 容
9月30日 (金)	オンライン	26人	・ 県内外国人相談の現状について ・ 講義「外国人相談対応の基礎」 （公財）兵庫県国際交流協会 ひょうご多文化共生総合相談センター 村松紀子 相談員 ・ 意見交換会
12月8日 (木)	オンライン	33人	・ 講義「入管法の基礎」 東京出入国在留管理局 在留支援部門 安本 統括審査官 ・ 意見交換会

(2) 外国人向け新型コロナウイルス相談ホットラインの運営

県内にお住いの外国人の方の不安解消と地域での感染拡大防止のため、新型コロナウイルスに特化した相談ホットラインを設置し、埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンターや受診・相談センターにつないで通訳（20言語）を行うとともに、やさしい日本語での対応を行いました。

○相談件数：2,755件

○対応言語：英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、
タガログ語、タイ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、
ミャンマー語、クメール語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、
ロシア語、モンゴル語、シンハラ語、ベンガル語、ヒンディー語、
やさしい日本語

○対応時間：24時間

(3) 外国人のための無料法律相談

ア 埼玉弁護士会による法律相談の予約仲介

埼玉弁護士会による外国人のための無料法律相談（毎週水・金曜日）の予約を仲介しました。また、要請に応じてボランティア通訳を派遣しました。

○予約仲介件数：133件

○通訳派遣件数：92件

○対応言語数：9言語（英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語、タイ語、トルコ語、ロシア語）

イ 関東弁護士会連合会・埼玉弁護士会との共催による無料法律相談会の開催

実施日	場 所	相談件数	内 容
11月5日 (土)	埼玉弁護士会 法律相談センター	8件 (対応弁護士7人)	<ul style="list-style-type: none"> ・対応言語数：6言語 (スペイン語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語、日本語) ・通訳派遣人数：5人

(4) 外国人のための災害時支援

大規模災害発生時、迅速に「災害時多言語情報センター」を設置・運営できるよう、大規模災害を想定し、市町村、市町村国際交流協会及びボランティアを対象とした事前会議やシミュレーション訓練を行いました。

また、近年増加している水害に備えるため、一般財団法人自治体国際化協会が実施している「在住外国人向け防災行動計画作成用ツール普及事業」の一環として、防災行動計画（マイ・タイムライン）の作成研修を行いました。

実施日	場 所	参加者	内 容
11月24日 (木)	浦和合同 庁舎講堂	35人 (市町村18人、市町村国際交流協会1人、協会通訳・翻訳ボランティア16人)	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「防災行動計画（マイ・タイムライン）を活用した水害への備え」 埼玉県危機管理防災部危機管理課 主査 遠藤哲雄氏 ・多言語マイ・タイムライン検討ツールの紹介 一般財団法人自治体国際化協会 多文化共生課 主査 松本慎之介氏
3月9日 (木)	— (メールの送受信による訓練)	71人 (県国際課1人、市町村21人、市町村国際交流協会3人、協会通訳・翻訳ボランティア41人、協会5人)	<p>【連絡会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時多言語情報センターの役割 ・運営訓練の実施について <p>【シミュレーション訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の被災状況確認 ・被災者への提供情報の翻訳 ・市町村からの翻訳依頼への対応

(5) 高校進学ガイダンス

日本語を母語としない外国出身の生徒の高校進学を支援するため、「日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス」を開催しました。ガイダンスでは、高校進学に関する資料を7言語（日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語）で作成・配布しました。

実施日	場 所	参加者	内 容
8月6日 (土)	ソニック シティビル 市民ホール	183人 (児童・生徒 84 人、 保護者・家族 79 人、 引率教員等 20 人)	<全体説明> 入学試験、学費などの説明、先輩の体験談 <個別相談> 学校別ブース（公立高校11校）、 奨学金ブース、日本語教室紹介等

(6) 通訳・翻訳ボランティアの登録・紹介

通訳・翻訳のボランティアの登録を受け付けるとともに、県、市町村、公益団体等からの依頼に対し、登録者を紹介しました。

ア 通訳・翻訳ボランティアの登録者数及び紹介件数等

言語（34 言語）	登録者数	紹介件数	紹介人数
英語	650 人	42 件	42 人
中国語(北京語)	163 人	47 件	47 人
スペイン語	84 人	11 件	11 人
ロシア語	66 人	1 件	1 人
韓国・朝鮮語	55 人	—	—
フランス語	40 人	10 件	10 人
ベトナム語	26 人	6 件	6 人
タイ語	24 人	6 件	6 人
ポルトガル語	22 人	8 件	8 人
タガログ語	14 人	14 件	14 人
インドネシア語	11 人	1 件	1 人
イタリア語	10 人	—	—
ドイツ語	10 人	—	—
トルコ語	10 人	1 件	1 人
ウクライナ語	9 人	—	—
台湾語	9 人	—	—
ネパール語	9 人	1 件	1 人
ウルドゥ語	6 人	6 件	6 人
広東語	6 人	—	—
上海語	6 人	—	—
ヒンディー語	6 人	—	—
シンハラ語	5 人	—	—
ミャンマー語	4 人	—	—
モンゴル語	4 人	4 件	4 人
アラビア語	3 人	—	—
ペルシャ語	3 人	—	—
ラオス語	3 人	—	—
ルーマニア語	3 人	—	—

言語（34言語）	登録者数	紹介件数	紹介人数
クメール語	2人	1件	1人
クルド語	2人	—	—
ウズベク語	1人	—	—
エストニア語	1人	—	—
ベンガル語	1人	—	—
マレー語	1人	—	—
合計（延べ数）	1,269人	159件	159人

イ 項目別件数

項目	主な内容	件数	割合
法律相談	埼玉弁護士会による法律相談	96件	60.4%
医療・福祉	病院受診、児童相談所	47件	29.6%
国際交流・イベント	県内イベント	5件	3.1%
学校・教育	学校の保護者面談、進学相談会	11件	6.9%
合計		159件	100%

（7）市町村国際交流協会との連携

県内の市町村国際交流協会相互の連携強化や、コロナ禍での事業実施に関する意見交換等を目的とする連絡会議をオンラインにて開催しました。

実施日	場所	参加者	内容
1月26日 (木)	オンライン	12団体14人	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における事業実施状況の共有 ・オンライン日本語教室についての意見交換 ・情報交換

（8）多言語による情報発信

協会ホームページ及び協会SNSを通じて4言語（英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語）で外国人向けの生活情報、感染症情報等を提供しました。

（9）日本語教室支援事業

日本語力が十分でない外国人の日本語学習環境を整えるため、日本語学習支援者向けの研修会を実施したほか、地域日本語教室の新規立上げや既存の教室の運営などの相談に応じるアドバイザーを派遣しました。

ア 日本語教室支援協議会開催

- ・第1回日本語教室支援協議会開催 8月10日（水）（オンライン）
- ・第2回日本語教室支援協議会開催 2月9日（木）（オンライン）

イ 日本語教室ボランティア初級研修開催

回	実施日	会場	募集	参加者
1	12月13日(火)	ソニックシティビル市民ホール	100人	46人
		オンライン	100人	62人
2	1月29日(日)	ウエスタ川越多目的ホール	100人	50人
		オンライン	100人	71人
3	2月3日(金)	越谷市中央市民会館	65人	21人
		オンライン	100人	54人
合計			565人	304人

ウ 日本語教室ボランティア経験者向け研修開催

回	実施日	開催方法	募集	参加者
1	12月18日(日)	オンライン	100人	66人
2	1月12日(木)	オンライン	100人	56人
合計			200人	122人

エ 日本語教室ボランティア課題解決型研修開催

実施日	会場	募集	参加者
11月15日(火)	浦和合同庁舎講堂	80人	67人

オ 地域日本語教室相談・立ち上げアドバイザー候補者の募集・登録

募集期間	登録人数
6月2日(木)～7月29日(金)	14人

カ 地域日本語教室相談・立ち上げアドバイザー候補者の派遣

	派遣先	派遣人数	派遣時間数
1	伊奈町	1人	6.5時間
2	寄居町	1人	24.75時間
3	在日クルド人と共に(蕨市)	1人	13.75時間
4	桶川市	1人	6.5時間
5	個人(久喜市)	1人	2時間

(10) 外国人支援ニーズ把握調査事業

日本語力が十分でない外国人のための総合的支援に係る支援ニーズを把握するため、外国人住民、地域日本語教室等の民間団体、通訳翻訳ボランティア、民間企業及び市町村を対象とした調査を実施しました。

○調査期間：11月14日(月)から11月30日(水)

○調査方法：URLを記載した依頼文を郵送配布、WEB回答による回収

調査対象	標本数	回収数
外国人住民	3,000 件	376 件
NGO等	246 件	110 件
通訳翻訳ボランティア	1,012 件	292 件
民間企業	1,059 件	211 件
市町村	63 件	57 件
市町村教育委員会	63 件	56 件

2 国際的に活躍できる人材の育成

海外留学を経験した日本人学生と外国人留学生の両者を対象に、留学前から留学後の県内企業への就職までトータルに支援する「グローバル人材育成センター埼玉」を運営し、世界を舞台に活躍できるグローバル人材の育成を推進しました。

(1) 日本人留学生の支援

ア 「埼玉発世界行き」奨学金支給事業

渡航先の防疫措置などを事前に詳しく調べ、その遵守を誓約することを条件に渡航による留学を支給対象としました。

(ア) 「埼玉発世界行き」奨学金支給事業

当協会がグローバル人材を育成するために設置した「埼玉グローバル人材活躍基金」により運営する奨学金を支給しました。

また、海外留学を志す若者が家庭の経済的理由等により海外留学を断念することがないように、学位取得コース及び地域活躍コースに低所得世帯等の学生に向けて奨学金を増額する特例制度を新たに設けました。

コース	募集人数	応募者数	内定者数	支給者数
学位取得コース	10 人	88 人	10 人	10 人
地域活躍コース	50 人	79 人 (7 人)	50 人 (6 人)	43 人 (5 人)
高校生留学コース	30 人	55 人	30 人	28 人
計	90 人	222 人	90 人	81 人

※ () は低所得世帯等特例制度適用者

(イ) 「埼玉発世界行き」冠奨学金支給事業

55 万円以上の御寄附をいただいた企業、個人、団体等の名称等を冠したオーダーメイド型の奨学金制度として奨学金を支給しました。

○新規支給

コース	募集人数	応募者数	内定者数	支給者数
カロネコ奨学金	2 人	7 人	1 人	1 人
カネパッケージ奨学金	2 人	10 人	2 人	2 人
グリーン・アート奨学金	1 人	8 人	1 人	1 人
サイエイホールディングス奨学金	3 人	5 人	2 人	2 人

コース	募集人数	応募者数	内定者数	支給者数
浦和競馬チャレンジ奨学金長期コース	2人	39人	2人	2人
浦和競馬チャレンジ奨学金短期コース	16人	46人	16人	16人
未来へつなぐ地域とJAさいたま奨学金	3人	30人	3人	2人
シン建工業真心奨学金	1人	4人	1人	1人
セブン&アイ グローバル奨学金	2人	40人	2人	1人
あなたにカンケイあるテレビテレ玉奨学金	1人	29人	1人	1人
NIPPON SIGNAL グローバルチャレンジ奨学金	1人	6人	1人	1人
「水のマエザワ」東南アジア留学奨学金	2人	1人	1人	1人
マレリ未来奨学金学位取得コース	1人	6人	1人	1人
マレリ未来奨学金短期コース	2人	1人	1人	1人
もりくまファーストステップ奨学金	1人	4人	1人	1人
ヤオコー奨学金	1人	6人	1人	1人
眞美ちゃん奨学金	1人	8人	1人	1人
はばたけ！女性応援奨学金学位取得コース	4人	41人	4人	4人
はばたけ！女性応援奨学金長期コース	4人	24人	4人	4人
はばたけ！女性応援奨学金短期コース	6人	37人	6人	6人
計	56人	352人	52人	50人

○令和2、3年度奨学生内定者のうち、受給資格を延長した者に対する支給

コース	支給者数
地域活躍コース	2人
高校生留学コース	3人
カネパッケージマングローブ奨学金	1人
浦和競馬チャレンジ奨学金短期コース	8人
未来へつなぐ地域とJAさいたま奨学金	2人
ヤオコー奨学金	1人
ヨシノデンカユメツナグ奨学金	1人
計	18人

イ 奨学生壮行会・同窓会の開催

令和4年度奨学生の壮行会及び留学を終えた奨学生の同窓会を開催しました。

実施日	開催場所	参加者	内容
8月5日 (金)	県民健康センター 大ホール	93人	<ul style="list-style-type: none"> 海外挑戦経験談の講演 帰国した奨学生からの報告 令和4年度奨学生代表者決意表明 埼玉親善大使委嘱状授与

ウ 留学準備セミナーの実施

留学への機運を醸成することを目的として、留学相談・情報提供等を行う「留学準備セミナー」を開催しました。

実施日	開催方法	参加者	内 容
3月5日 (日)	オンライン	75人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度奨学生募集の概要について ・冠奨学金コース設置者によるPR ・留学中の奨学生による留学体験談

エ 留学促進ガイド

(ア) 「埼玉発海外留学のすすめ」

県内の高校生や大学生の留学意欲を高めるため、「埼玉発世界行き」帰国奨学生の体験談等を掲載した「埼玉発海外留学のすすめ」を作成し、県内教育機関に配布するとともにホームページに掲載しました。

○発行部数：2,000部

(イ) 「埼玉県留学ガイド」

県内大学への外国人留学生招致のため、本県の産業・観光等の紹介、県内大学のPRを行う冊子「埼玉県留学ガイド」について、日本語版・英語版・中国語版・ベトナム語版をホームページに掲載しました。

(2) 外国人留学生の支援

ア ホームステイのあっせん

グローバル人材育成センター埼玉の会員である大学の外国人留学生を対象に、ホームステイボランティアとして登録のある県内家庭へのホームビジットやホームステイを通じて、日本文化に対する理解を深める機会を設けました。

回	実施日	実施内容	参加学生数	参加家庭数
1	7月3日(日)	ホームビジット	2大学26人	26家庭
2	12月10日(土) ～11日(日)	ホームステイ	5大学40人	31家庭
3	2月25日(土) ～26日(日)	ホームステイ	5大学14人	13家庭
計			5大学80人	70家庭

イ 外国人留学生向け生活相談

外国人総合相談センター埼玉において外国人留学生の生活相談に応じました。

○相談実績：289件

ウ 学生交流イベントの開催

外国人留学生と日本人学生の相互交流を図るイベント「埼玉学のすすめ」を埼玉県留学生交流推進協議会との共催で実施しました。

○実施日：2月11日(土・祝)

○内 容：鉄道博物館見学及び国際交流

○参加学生：38人(うち外国人留学生25人)

(3) 就職支援

ア 企業インターンシップの実施

グローバル人材として活躍するために必要な「実践力」を養うため、県内企業や団体でのインターンシップを斡旋しました。

- 実施時期：7月～3月
- 参加学生：11人（うち外国人留学生5人）
- 受入企業・団体：9社・機関

イ グローバル人材向け就職面接会の開催

海外留学を経験した日本人学生と外国人留学生を対象に、企業面接会を実施しました。

回	実施日	場所	参加企業	参加学生
1	6月10日 (金)	ソニックシティビル 市民ホール	26社	158人 (うち外国人留学生157人)
2	11月10日 (木)	ソニックシティビル 市民ホール	19社	135人 (うち外国人留学生135人)

ウ 就職相談

就職マッチング&フォローアップシステムを運用し無料職業紹介を実施するとともに、県内大学での巡回相談等を実施しました。

(ア) 無料職業紹介

学生登録数	605人 (うち外国人留学生485人：中国、ベトナム、ネパール、スリランカ、ミャンマー など)
求人登録	211人
県内企業への内定	48社 67件
マッチング件数（うち内定）	82社 1,069件（うち内定13社21件）
就職相談等	904件

(イ) 巡回相談・出張ガイダンス

回	開催日	大学名	参加者数
1	5月18日(水)	聖学院大学	10人
2	5月25日(水)	聖学院大学	4人
3	7月15日(金)	東洋大学	4人
4	10月21日(金)	城西大学	11人
5	12月13日(火)	埼玉大学	17人
6	12月15日(木)	東洋大学	5人
7	12月16日(金)	東洋大学	3人
8	12月20日(火)	東京電機大学	5人
9	1月16日(月)	東洋大学	5人
10	1月17日(火)	東洋大学	3人
11	1月25日(水)	立正大学	5人

エ 企業留学生OB・OG訪問ツアー

埼玉県にゆかりのある企業を外国人留学生在が訪問しその企業から説明を受けるとともに、勤務している先輩社会人にインタビューできる座談会の場を設けました。

- 実施日：9月7日(水)・9日(金)
- 訪問先：(株)モリタ東京製作所、(株)ヨドバシカメラ
- 参加学生：12名

オ グローバル人材向け就職ガイダンス

就職活動が遅れがちな帰国後間もない日本人留學生と外国人留學生のために、自己分析や企業選択、就職活動に必要な情報を説明しました。

回	実施日	場所	参加学生
1	6月10日 (金)	ソニックシティビル 市民ホール	75人 (うち外国人留學生75人)
2	11月10日 (木)	ソニックシティビル 市民ホール	77人 (うち外国人留學生77人)

カ 県内企業向け外国人留學生採用支援セミナー

外国人留學生採用の先行事例の紹介や専門家による採用に関する留意点の講義等を通じて、県内企業の外国人留學生の採用意欲向上を促しました。

- 実施日：11月16日(水)
- 場所：ソニックシティビル 803会議室
- 参加企業：15社

(4) グローバル人材埼玉ネットワークの運営

埼玉県にゆかりのあるグローバル人材や県内の企業・団体・大学等を会員とする「グローバル人材埼玉ネットワーク」を運営しました。

- メルマガ発行：12回
- 会員数：2,029人・団体(個人：1,972人、団体：57団体)

(5) 国際理解教育

ア 世界へのトビラ事業の運営

学校や地域での国際理解教育を支援するため、授業等に外国人や青年海外協力隊元隊員等を派遣しました。また、講師等を対象とした勉強会を開催しました。

(ア) 外国人講師の国・地域別登録者数（令和5年3月31日現在）

地域	国	登録人数	派遣実人数	派遣延べ人数
アジア	インド	1人	1人	7人
	インドネシア	3人	1人	4人
	韓国	9人	3人	10人
	カンボジア	1人	1人	1人
	スリランカ	1人	0人	0人
	タイ	1人	1人	1人
	台湾	3人	1人	1人
	中国	18人	3人	7人
	中国（ウイグル）	2人	1人	2人
	中国（チベット）	1人	0人	0人
	中国（香港）	1人	1人	5人
	ネパール	1人	0人	0人
	パキスタン	1人	0人	0人
	バングラデシュ	2人	0人	0人
	フィリピン	4人	1人	1人
	ベトナム	7人	2人	5人
	マレーシア	2人	1人	12人
モンゴル	1人	1人	1人	
中東	アフガニスタン	1人	0人	0人
	トルコ	2人	1人	2人
ヨーロッパ	イタリア	1人	1人	15人
	スペイン	1人	0人	0人
	ハンガリー	1人	0人	0人
	ルーマニア	1人	0人	0人
	ロシア	6人	1人	4人
アフリカ	ギニア	2人	0人	0人
	マリ	1人	0人	0人
	モロッコ	2人	2人	7人
中南米	アルゼンチン	1人	1人	13人
	コロンビア	2人	1人	9人
	パラグアイ	1人	1人	13人
	ブラジル	4人	0人	0人
	ペルー	6人	2人	4人
合 計		91人	28人	124人

(イ) 日本人講師・アドバイザーの登録者数 68人

(青年海外協力隊の元隊員、NGO活動や海外でのボランティア経験者等)

(ウ) 教育現場等への講師派遣

○対象：県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校及び国際理解を推進している県内の公益的団体

○実績

派遣先	件数	生徒等参加人数
小学校	4件	452人
中学校	12件	2,128人
高等学校	7件	1,587人
特別支援学校	1件	22人
NGO団体等	5件	117人
合計	29件	4,306人

(エ) 講師の登録及び育成のための勉強会の開催

講師派遣事業の登録講師等を対象に、派遣先における授業の研究や意見交換など、実践に向けた勉強会を開催しました。

実施日	参加者	内容
3月8日 (水)	32人 (外国人講師17人、 日本人講師・アド バイザー15人)	1 事業実績報告 コロナ禍での実施についての情報共有 2 グループでの意見交換 ・SDGsを取り入れた授業の組み立てについて ・パワーポイントの有効活用について ・効果的な全体会の実施方法について

イ 外国人留学生出前講座

子供の国際感覚の醸成を目的として、子ども食堂や放課後児童クラブの児童と県内外国人留学生との交流会を開催しました。

- 実施期間：5～2月（15回）
- 派遣学生：25人
- 参加児童：159人

ウ 日本語教室での日本語指導体験

子供や若者が地域の外国人住民との交流を通じて、多文化共生社会を築くきっかけづくりを行うため、高校生の日本語教室体験を行いました。

- 実施期間：7～3月（10回）
- 開催方式：対面又はオンライン
- 参加者：高校生29人

3 国際交流・協力活動の促進

新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を実施した上で、安全・安心に参加できる方法を工夫し、県内在住の外国人との交流活動を実施するとともに国際協力活動を促進しました。

(1) ホームステイボランティア（ホストファミリー）の登録・紹介

ホームステイボランティアを行う家庭の募集・登録を行いました。

新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を行った上で、グローバル人材育成センター埼玉の会員である大学の外国人留学生を対象に、ホームステイボランティアとして登録のある県内家庭でのホームステイ（感染状況を踏まえ、第1回目は日帰りで行うホームビジット）を実施し、日本文化に対する理解を深める機会を設けました。

また、国際交流基金日本語国際交流センター研修参加者には、市町村から斡旋されたホストファミリー及び当協会登録のホストファミリー宅でのホームステイ（感染状況を踏まえ、第1回目はオンライン交流、第2回目はホームビジット）を実施しました。

ア ホームステイボランティアの登録数（令和5年3月31日現在）

○261 家庭

イ グローバル人材育成センター埼玉を通じた外国人留学生との交流

回	実施日	実施内容	参加学生数	参加家庭数
1	7月3日(日)	ホームビジット	2大学26人	26家庭
2	12月10日(土) ～11日(日)	ホームステイ	5大学40人	31家庭
3	2月25日(土) ～26日(日)	ホームステイ	5大学14人	13家庭
計			5大学80人	70家庭

ウ（独）国際交流基金日本語国際センター研修参加者との交流

回	実施日	実施内容	研修参加者数	参加家庭数
1	7月23日(土)	オンライン交流	33人	32家庭
2	8月21日(日)	ホームビジット	21人	10家庭
3	10月29日(土) ～30日(日)	ホームステイ	32人	32家庭
4	1月21日(土) ～22日(日)	ホームステイ	7人	7家庭
5	1月28日(土) ～29日(日)	ホームステイ	15人	15家庭
計			108人	96家庭

エ ホストファミリー向け研修会

開催日	参加者
10月13日(木)	12家庭 14人

(2) 「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」の運営

公共団体と民間団体がそれぞれの機能や特色を活かしながら情報交換や協働活動を行うため、「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」を運営し、幹事会と全体会を開催しました。

また、埼玉NGOネットワークと合同で研修会を実施し、幹事市が事例発表をする等、事例研究の機会を設けました。

ア 構成団体数 236 団体（令和 5 年 3 月 31 日現在）

○内訳：NGO等 171 団体、市町村 63、県、県国際交流協会

イ 活動状況

活動	実施日	実施方法	参加者	主な内容
幹事会	7月7日 (木)	オンライン	4団体 5市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度幹事団体の選任について ・令和3年度事業実績について ・令和4年度事業について
全体会	9月14日 (水)	オンライン	29市町村 34人 20団体 25人	<p>【第1部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度幹事団体の選任について ・令和3年度事業実績について ・令和4年度事業について <p>【第2部】</p> <p>講演「協働でめざす多文化共生のまちづくり～境界を越えてbeyond the border～」</p> <p>多文化共生コーディネーター 阿部一郎氏</p>
研修会	1月26日 (木)	オンライン	50人	<p>【第1部】</p> <p>基調発題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横瀬町 ・一般社団法人多文化共生コスモ <p>【第2部】</p> <p>事例報告</p> <p>さいたま市、入間市、日高市、 吉川市、加須市</p>

(3) 彩の国さいたま国際協力基金助成事業

埼玉県内に活動の拠点を置く民間団体が行う国際協力事業5事業に対し、助成を行いました。

ア 助成状況

助成団体数(応募数)	助成事業数(応募数)	助成額
5 団体 (5 団体)	5 事業 (5 事業)	1,793,875円

イ 助成事業一覧

○海外協力事業（4団体）

団体名	対象国	事業内容	助成額
特定非営利活動法人 国際協力 NGO・IV-JAPAN	ラオス	女性の自立のための 介護職業訓練	500,000 円
特定非営利活動法人 エクアドルの子どものため の友人の会（SANE）	エクアドル共和国	小学校の学校菜園の 持続化のための事業	438,875 円
NPO 法人 YOU&ME ファミリー	バングラデシュ	幼小中学校における コロナ対策プロジェ クト教育環境の改善	250,000 円
特定非営利活動法人 セネガル交流協会 JAPAN	セネガル共和国	教育施設建設事業	500,000 円

○県内協力事業（1団体）

団体名	事業内容	助成額
かわごえ国際ボランティアの会	かわごえ国際交流フェスタ 2022	105,000 円

(4) NGO活動発表支援事業

県内NGO等の活動を広く広報するため、紹介動画を募集・作成しホームページに公開しました。

○掲載団体（4団体）

- ・特定非営利活動法人国際協力 NGO・IV-JAPAN
- ・ザ・フレンドシップ・フォース・埼玉
- ・特定非営利活動法人セネガル交流協会 JAPAN
- ・川越ボランティアの会

4 幅広い情報発信

(1) 国際交流プラザの運営

県民参加の国際交流・国際協力を推進するため、NGOやボランティア等に対して情報交換や交流の場を提供するとともに、団体等の日頃の活動場所や講座の実施場所として研修講座室を貸し出しました。

また、各団体の通信の窓口としてのメールボックスや、活動備品を保管するロッカーの貸出しを行いました。

研修講座室は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、20人を上限に貸し出しを行いました。

項目	利用者数・件数
開館日数	243日
研修講座室利用者数	1,551人
研修講座室	98件
メールボックス利用団体	4団体
ロッカー利用団体	5団体

(2) 広報紙やインターネットによる情報発信

ア 広報紙「フレンドシップニュース」の発行

協会事業の広報や多文化共生への理解を進めるため、協会情報紙「フレンドシップニュース」を発行しました。

回数	部数	配布先
3回 臨時号、11月号、2月号	各 350部	賛助会員、彩の国さいたま国際交流・協 力ネットワーク、県関係機関等

イ ホームページでの情報発信

ホームページで多文化共生や国際交流・協力に関する情報や多言語による在住外国人向け生活情報や感染症情報等を発信しました。

ウ SNSを活用した情報の発信

Facebook、Twitter、LINEを活用し、当協会の事業に関する情報や多言語による在住外国人向け情報等を発信しました。

	Facebook	Twitter	LINE
発信回数	80回	80回	72回

5 収益事業

埼玉県パスポートセンター（大宮・川越・春日部）及び川口市パスポートセンターと同じフロアに設置した「クイックフォトスタジオ」において写真撮影事業を実施しました。パスポート申請写真のみならず各種証明写真の撮影に対応するとともに、クレジットカード会社との提携のもとに撮影料金の割引サービスを実施しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によりパスポート申請者が引き続き低調に推移したことから、クイックフォトスタジオ川越については4月から9月までの日曜日を休業としました。また、クイックフォトスタジオ春日部については令和3年度に引き続き1年間休業としました。

写真撮影利用者数は前年度比267.7%増と大幅に回復しましたが、令和元年度と比べると58.1%の減少となりました。

写真撮影利用者数	カード申込者数
18,916人	2,128人

6 協会運営

(1) 賛助会員加入促進

当協会の目的・事業に賛同する個人や団体を賛助会員として募りました。

○賛助会員の状況（令和5年3月31日現在）

個人会員	学生会員	団体会員	NGO会員	合計
177人	2人	56団体	22団体	179人・78団体

(2) 理事会の開催

回	開催日	主な審議事項
第1回	4月1日(金)	・令和4年度第1回評議員会招集の件
第2回	4月1日(金)	・業務執行理事（近藤一幸氏）選定の件
第3回	5月23日(月)	・令和3年度事業報告の承認の件 ・令和3年度決算の承認の件 ・令和4年度第2回評議員会招集の件 ・令和4年度定時評議員会招集の件
第4回	6月14日(火)	・業務執行理事（近藤一幸氏）選定の件
第5回	11月25日(金)	・令和4年度第2回評議員会招集の件
第6回	3月13日(月)	・令和5年度事業計画承認の件 ・令和5年度収支予算承認の件 ・令和5年度第5回評議員会招集の件

(3) 評議員会の開催

回	開催日	主な審議事項
第1回	4月1日(金)	・理事（飯澤展明氏、近藤一幸氏）の選任の件
第2回	6月1日(水)	・評議員（萩原なつ子氏、小野修作氏）の選任の件
定時 (第3回)	6月14日(火)	・令和3年度決算の承認の件 ・理事（渡邊享子氏、近藤一幸氏）の選任の件
第4回	11月25日(金)	・監事（貝沼勤氏）の選任の件
第5回	3月27日(月)	・令和5年度事業計画承認の件 ・令和5年度収支予算承認の件